



佐野美術館 平成24年10月6日(土)～11月25日(日)

こむらせったい  
小村雪岱 江戸の残り香  
— 清水三年坂美術館コレクションより



三田村鷹魚<大衆文藝評判記>装幀 清水三年坂美術館蔵

## 担当学芸員が語る 「小村雪岱」展の見どころ

～学芸員：河内えり子さんに聞く～

— 小村雪岱について教えてください。

**河内** 小村雪岱は日本画家でありながら、本の挿絵、装幀、舞台美術の監修などに携わり幅広く活躍しました。中でも一番多い作品は、本の挿絵と装幀です。雪岱が挿絵で有名になったのは、邦枝完二の『おせん』を主人公とした話でした。『おせん』は浮世絵師の鈴木春信が美人画のモデルとした実在の人物です。江戸で美人と評判の茶屋娘でした。この『おせん』の挿絵がきっかけで雪岱は挿絵画家として有名になりました。

— 小村雪岱の作品の特徴を教えてください。

**河内** 雪岱の作品の素晴らしさは線の美しさです。線描が美しい画家の一人として小林古径が挙げられますが、古径の線がとぎすまされた線としたら、雪岱の線はたおやかな線といったらよいのでしょうか。この線で描かれた女性はどこことなく匂い立つ色香を醸し出しています。

また、雪岱の描く美人画は表情がない、と言われます。これにも理由があり、雪岱は能面に関心を持っていて、光の当たり方や面の向きで変化する様を自身の絵で表現したいと思っていました。ただ、雪岱の描く美人画は、細やかな手足の描写や背景でその人物の気持ちが良く伝わってきます。

もう1つの特徴は、デザイン感覚です。雪岱は1つ1つの作品に対して配色や人物の位置などにこだわり、今見てもおしゃれで新しい感覚です。資生堂のデザイン部に在籍していたこともあり、資生堂の椿のロゴマークの原型もデザインしました。

— 小村雪岱はどのような人物だったのでしょうか。

**河内** 雪岱の人物像が分かる文献はあまりないのですが、実際の作品を拝見すると、丹念にゆっくりと線を引いている様子が分かります。1つ1つの仕事をしっかりとこなし、まじめな性格だったのではないかと思います。また、その仕事ぶりから多くの作家に信頼され、特に泉鏡花からの信頼が厚く、泉鏡花作品の装幀や挿絵のほとんどを手掛けました。

— 作品をどのように鑑賞したらよいでしょうか。

**河内** 雪岱の作品はシンプルな構図のものが多いですが、是非1つ1つの作品をじっくりと見てください。その作品の味わい深さがじわじわと伝わってきます。また、清水三年坂美術館所蔵の小村雪岱の作品が同館以外のところで公開されるのは初めてです。雪岱を知っている方も、初めて知ったという方も、雪岱の魅力が分かる展覧会にしたいと思いますので、是非ご来館ください。お待ちしております。

## ミュージズクラブ 会員募集

ミュージズクラブ会員を募集しています。楽しい催しを企画して、皆さまをお待ちしております。佐野美術館ミュージズクラブ事務局(TEL:055-975-7278)までお問い合わせください。

### 新規入会者 (敬称略、50音順) 平成24年4月1日～8月31日まで

〈ゴールド会員〉 池田裕介、遠藤マサ子、一般財団法人 静岡経済研究所、望月和雄

〈正会員〉 岡部理、近藤光栄、塩澤万喜子、柴田洋志子、芹澤和子、谷下昇、土屋雅夫、土井宣博、新里裕、原川貞代、堀之内勝之

佐野美術館賛助会ミュージズクラブ会報『ミュージズ交歓』 2012年9月号(第10号)

発行日:平成24年9月1日 編集・発行:佐野美術館賛助会ミュージズクラブ

住所:〒411-0838静岡県三島市中田町1-43 佐野美術館内 TEL:055-975-7278/FAX:055-973-1790

ホームページ: <http://www.sanobi.or.jp> メール: [mc@sanobi.or.jp](mailto:mc@sanobi.or.jp)

佐野美術館賛助会  
ミュージズクラブ会報

# ミュージズ交歓

NUMBER

10

2012.9

佐野美術館と皆さまをつなぐ

下半期

イベント予告

## 十三夜の宴

日時:平成24年10月27日(土)  
17:00開場/17:30開宴  
会費:MC会員3,000円/一般5,000円  
定員:約100名(要申込・先着順)  
会場:佐野美術館庭園内「隆泉苑」  
(雨天の場合は佐野美術館ロビー)  
出演者:常味裕司(ウード奏者)

“ウード”、あまり耳馴染みのないこの楽器が、今年の宴の主役です。ウードは中近東の琵琶と言われ、アラブ音楽を代表する撥弦楽器です。洋ナシ型のボディに繊細な象嵌細工がほどこされ、音色はギターや琴、三味線のような深い響きがあります。今回は、日本におけるウード奏者の第一人者、常味裕司を迎え、卓越したテクニックとアラブ音楽の魅惑的で情感豊かな旋律をお届けします。演奏終了後は、登録有形文化財「隆泉苑」の庭園内に、バイキング形式での温かいお食事やお酒をご用意します。名月の下、異国情緒あふれる一夜をお過ごしください。



### つねみ ゆうじ 常味 裕司 プロフィール

1960年、東京都出身。明治大学卒業。放送大学非常勤講師。民族音楽センター在籍中、アラブ音楽に出会う。スーダンのウード奏者ハムザ・エル＝ディンのもとで演奏法を学び、89年よりチュニジアへ渡りアラブ世界を代表するウード奏者アリ・スリティに師事。愛知万博(愛・地球博)、琵琶湖芸術祭、世田谷美術館、国立民族学博物館、奈良新薬師寺、京都法然院、ジョン・レノンスーパーライブ(日本武道館)などでの演奏活動の他、宇崎竜童やつのだ☆ひろといったアーティストとの共演、大使主催の晩餐会では皇太子御夫妻、秋篠宮御夫妻御前演奏を行うなど幅広く活動している。NHKスペシャル「新シルクロード第2部」、NHK大河ドラマ「龍馬伝」、映画「ガマの油」(監督:役所広司)などドラマ、映画、ラジオへ楽曲参加、「土曜スタジオパーク」などテレビ出演も多数。



ウード